

#History

野々市じょんからまつり関連年表



室町	富樺氏が野々市に館を構え、守護として加賀の国を治める
江戸	富樺氏の善政をたたえ、人々が身分の区別なく踊り明かした（諸説あり）
明治 前期	明治政府が「盆踊りは男女の逢瀬の場になり、風紀を乱す」として、全国的に盆踊りを禁止する。野々市でも、同様に盆踊りが衰退
大正 明治後期～大正	郷土史家木村素堂氏が盆踊り復活運動を始める
1928年頃(昭和3年)	郷土史家木村素堂氏が「富樺略史音頭」を作詞する
1935年頃(昭和10年)	栗田と上林の踊りを合わせて富奥じょんからが作られる
1947年頃(昭和22年)	郷じょんからが誕生。郷村全体で盆踊りを行うため、横江（現白山市）のじょんからをもとに作られる
1952年(昭和27年)	野々市じょんから節が全国4,226件の芸能の中から、文部省（当時）の選定無形文化財に選定される
1955年(昭和30年)	野々市町（現在の本町地区）と富奥村が合併して、野々市町が誕生
1956年(昭和31年)	郷村の一部が野々市町に編入
1957年(昭和32年)	押野村の一部（押野、押越、野代、御経塚）が野々市町に編入し、市域が現在の姿になる
1967年(昭和42年)	野々市じょんから節が市（当時は町）指定無形民俗文化財に指定される
1982年(昭和57年)	毎年お盆に行われていた「野々市じょんから踊り大会」と商工会が開催していた「野々市まつり」を合わせ、「野々市じょんからまつり」が誕生
1990年(平成2年)	第9回野々市じょんからまつり開催。会場が旧役場前から現在の野々市文化会館フォルテに移り、9年ぶりに輪踊りが復活
1997年(平成9年)	サンバ調の踊り「踊れ！じょんから・la」が初お目見え

#Song

富樺略史音頭（野々市じょんから節）

未熟ながらも拍子をとりて唄いますのは富樺の略史
声はもどより文句も拙いまずい処を御用捨あれば
踊りましようぞ夜明るまでも今を去ること千年以前
時の帝は一条天皇雪に埋れてひらけぬ越路
加賀の司に富樺よ行けど勅諭かしこみ都を後に
下り来りて野々市町の地理を選びて館を築き
名僧智識は四方より集い民を愛して仁政布けば
是等智識に道をば聞きて

下は和らぎ稼しよくを励み上を敬い富樺を慕い
代々の司に奏上いたし勅許ありたる良官なれば
一の谷やら鶴越と屋嶋海戦大功樹て、
兄を名誉の将軍職に援け上たる義経公が
落て来りて安宅の関所家来弁慶読み上げます
音に名高き勧進帳に同情いたして涙で落す
共に実にもすれし名将智主と後世よまでも歌舞音曲に
残る徳こそ白峰と高く麓流るゝ手取の水と
名にいくよな幾千代名は芳はしく唄いますのは富樺の略史

♪野々市じょんから節はここで聞けます♪



野々市市公式YouTubeチャンネルで、野々市じょんから節の音源を公開しています。



野々市市を代表するまつりの一つ、「野々市じょんからまつり」。盆踊り「じょんから踊り」をはじめ、さまざまなイベントや多彩な飲食テントを楽しむ人々でにぎわう野々市の夏の風物詩です。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため昨年に引き続き、今年も残念ながら開催は中止に。まつりを楽しみにしていた皆さんにせめて紙面でまつりを楽しんでもらえるよう、今日は野々市じょんからまつりについて特集します。



昭和49年の野々市じょんから踊り大会の様子。（会場は野々市小学校）午後8時に始まり、夜が更けるまで多くの人が踊りを楽しんだ。



平成2年からは会場が再び野々市小学校に戻り、3階建てのやぐらを中心に輪踊りが復活した。（写真の撮影年は不明）



平成17年からやぐらが1階建てになり、ステージと踊りの輪が近づいた。（写真は平成27年）

特集

野々市じょんからまつり



昭和60年の野々市じょんからまつりの様子。歩行者天国となった野々市1番街（現在のぎわいの里のいちカミーノ）前を会場にしていた。



昭和59年ポスター



平成15年ポスター



野々市じょんからまつりトリプルAの魅力

#Artistic 芸術的な音楽

日が暮れ始め、並んだちょうちんに明かりがともる頃、野々市じょんから踊りが始まります。このとき聞こえてくる音色、実は生演奏だと知っていますか。野々市じょんから節保存会による風情溢れるライブ演奏が踊りの夜に彩りを添えています。



——野々市じょんから節保存会は、現在、何名で活動していますか。
年齢は20代から、最高齢は80歳までさまざまです。
——じょんから節保存会に入ったきっかけを教えてください。
私は昭和43年（1968年）頃、20歳くらいのときにじょんから節の演奏を始めました。当時は町の青年団が、8月15日、16日のじょんから踊り大会の運営準備をしていました。青年団からじょんから節保存会（昭和35年設立）へ

——演奏するときに大切にしていることはありますか。
踊子の速さにはとても気を使っています。早すぎると踊り子から、「踊りにくい」と注意されてしまいます。太鼓の音がペースを作り、そこに三味線と笛がメロディーを付けます。三味線の音を聞くと速くなってしまうので注意して速度を保つようにしています。

三味線を担当している人た



Interview
野々市じょんから節保存会
会長 中村 昭一さん

時を超えて愛されてきた
野々市の民謡

諸説ある由来

この野々市じょんから節の由来は諸説あります。加賀の脈々と踊り継がれた踊り



踊り流しの様子（大正期）

野々市じょんから節は、古くから地元で愛され踊り継がれてきました。もともとは小学校校庭（現在のにぎわいの里のいちカミーノを中心としたエリア）で盆踊りとして踊られていました。

#Authentic 長い歴史

まつりの名前にもなっている野々市じょんから節は、本町地区に古くから伝わってきた盆踊り。古くから唄い継がれ、踊り続けられた野々市じょんから踊りは、まちの大切な財産です。

国を中世の頃に治めていた武士である富樫氏の善政をたたえつつ、武士や町人、百姓などの区別なく踊り明かしたといふ説、長崎県平戸に伝わる豊年を祈る念仏踊り「自安和ンガラ」のことばを起源とする説などがありますが、いずれも確かなものはありません。戦になると、民俗芸能への関心が高まり、じょんから節はより洗練された踊りや芸風を目指して楽曲や衣装にも工夫が凝らされるようになります。戦後になると、民俗芸能の踊り大会で見られるような姿になりました。

現在の野々市じょんからまつりの踊り大会で見られるようも工夫が凝らされるように。現在の野々市じょんからまつりの踊り大会で見られるような姿になりました。

#Abundant 豊富なグルメ

まつりの楽しみといえば屋台。地域の飲食店20店舗以上が軒を連ね、それを求め市内外から多くの人が訪れます。定番の焼きそばから個性溢れるメニューまで多彩なラインナップが楽しめるのは、魅力的な飲食店が多い野々市のまつりならでは。



Interview
市商工会青年部
部長 勝地 あきらさん

まつりの思い出をつなぐ
青年部伝統の「焼きそば」
そばはおいしいと評判ですよ

——じょんからまつりの焼きそばはおいしいと評判ですね。
毎年、商工会青年部で焼きそばの飲食テントを出店しています。商工会青年部は、「じょん走中」などのイベントやステージ進行などまつり全体の運営を行っているため、約20人のメンバーが交代しながら焼き場を守っています。

——おいしさの秘訣が知りたい
毎年好評で、2019年には2日間で目標とした3500食を完売しました。おいしさの秘訣は「青年部伝統の作り方」にあると思っております。

毎年好評で、2019年には2日間で目標とした3500食を完売しました。おいしさの秘訣は「青年部伝統の作り方」にあると思っております。



チームワークの良さもおいしさの秘訣

——来年のまつりに向けての思いを聞かせてください。
暑い野外での調理でへとへとなりますが、次の年にまたやりたいと思うのは、まつりの成功のために部員が一丸となって取り組んだ達成感、そして焼きそばを喜んでくれる皆さんのがいるからです。来年は部員一同「やつと焼ける!」「焼きそばを待つとするやつがおる!」の気持ちで、焼きますのでぜひ食べに来てください。

——野々市じょんから節の「楽しみどころ」を教えてください！
野々市じょんから節はやはり、地域で教室をしていたり、こだわりのマイ三味線を使っていたりと、とても良い音で演奏していますのでぜひ注目して聞いてみてください。私は笛を担当しているので、ぜひ笛も聞いてほしいのですが（笑）。

——野々市じょんから節の「楽しみどころ」を教えてください！
野々市じょんから節はかつて野々市の地を中心に加賀一帯を治めていた富樫氏の善政を唄っています。歌詞をたどりながらじっくり聞いてもらおうと、歴史を感じて楽しいと思います。踊りは、東京音頭や炭坑節と比べるとテンポがゆったりしていて優雅なところが魅力です。手と足の動きがバラバラなので最初は難しいと感じるかもしれません。が、やつたら簡単なのでぜひ来年は踊ってみてくださいね。

